



みて、さわって、



ためして、
かんがえて、
学ぶ



ほうじん あさま さんろく こくさい しぜん かいこう しゅうねん きねん
NPO法人 浅間山麓国際自然学校 開校20周年記念

浅間山こども大学

さんかひ むりよう ていいん
参加費無料! 定員100名

かい こう
開校!!

浅間山には不思議がいっぱい。そんな不思議を研究によって解き明かしている大学の先生に、浅間山の素晴らしさをお話してもらおう「浅間山こども大学」。実物をさわってみたり、観察したり、貴重な映像を見たり、わくわくする楽しい授業を体験しよう!

2025年 11月29日 土 9:00 - 12:30

対象

お子様(小学3年生から中学生)のいらっしゃるご家族またはグループ

※1グループは5名様までとなります。

※小学3年生から参加可能ですが、内容は小学5年生以上の方に適しています。

会場

小諸市市民交流センター ステラホール ※小諸駅から徒歩10分

申込開始日

10月6日(月)

申込締切日

11月24日(月)

※先着順で、定員になり次第終了となります。

お問合せ・申込み

NPO法人 浅間山麓国際自然学校

☎ 0267-23-3124

お申し込みはこちら▶



【主催】NPO法人 浅間山麓国際自然学校 【後援】小諸市教育委員会 軽井沢町教育委員会
御代田町教育委員会 東御市教育委員会 佐久市教育委員会 嬬恋村教育委員会 長野原町教育委員会



あさまやま

こうぎ

ないよう

浅間山こども大学 講義内容

あさまやま

浅間山は生きている！

さいきん あさまやま ふんえん だいふんか お
最近の浅間山は、時々噴煙をあげても、大噴火を起

ようす かこ
こす様子ははありません。けれども過去にはマグマを
たいりょうふんしゅつ ふんか なんと お
大量に噴出する噴火を何度も起こしています。

えどじたい せかいじゅう ふんか えいぞう み あさまやま ふんか
江戸時代の絵図や、世界中の火山噴火の映像も見ながら、浅間山の噴火

ふんか そうぞう
がどれだけすごい噴火であったのか、想像してみたいと思います。

こうし
講師

日本大学文理学部地球科学科教授

安井真也（やすい まや）先生

き ぼ
数万年もの長い時間スケールで、大中小規模の

ふんか こんせき しら しょうらい ふんか よそく
火山の噴火の痕跡を調べて、将来の噴火の予測

ちそう すうまんねんかん
をめざしています。地層をみると数万年間そこ

へんか お
で、どんな大地の変化が起こったのかをまるで

たんてい すいり
名探偵のように推理することができます。



に に
あなたはシカ似？それともカモシカ似？
くら せいたい
比べて分かるカモシカの生態

シカとカモシカは似ているようで、まったく似ていない生き物。みな
さんはどちらに似ているかな？そんな問いから見えてくるカモシカの
と
社会。はく製や頭骨、毛皮やフンなど、実物を観察
せい とうこつ けがわ じつぶつ かんさつ
しながら、野生動物の生態の不思議に迫ります。



こうし
講師

東京農工大学農学部付属野生動物管理教育研究センター特任准教授

高田 隼人（たかだ はやと）先生

あさまやま だいら
浅間山のカモシカ平で、60 頭ものカモシカを顔で見

こうぞう と けんきゅう
分け、カモシカの社会構造を解き明かす研究をしてい

やせいどうぶつ す
ます。野生動物が大好きで、年間何十日もフィールド

どうぶつ お けんきゅうづつ
で動物を追いかけています。地道な研究を続けられ、

かん はっけん
カモシカに関する大発見もされました。



むかし こくようせき
大昔のスーパーナイフ黒曜石で切ってみよう

あさまさんろく せっきじたい いせき こくようせき
浅間山麓には、石器時代の遺跡がたくさんあり、黒曜石が見つかって

きんぞく どうぐ じたいこくようせき く か
います。まだ金属の道具がない時代黒曜石は人々の暮らしには欠かせ

どうぐ こくようせき つか むかし く
ない道具でした。黒曜石を使ってカットし、大昔の人々の暮らしにチャ

レンジしてみましょう。



こうし
講師

明治大学 黒曜石研究センター 特任教授

堤 隆（つづみ たかし）先生

むかし せっきじたい どうぐ
はるか昔の石器時代に、人々はどんな道具をどん

つか く けんきゅう こうこくしや
な風に使って暮らしていたかを研究する考古学者。

あさまさんろく じょうもんじたいいせき
浅間山麓の 5000 年前の縄文時代遺跡についてとて

くわ むかし
も詳しい。先生のお話を聞けば、昔の人々がどの

く
ように暮らしていたかが分かります。



だれ
アサマブドウを食べたのは誰？

あさまやま のぼ せ
浅間山を登っていくとやがて背の高い木がなくなり、

せ ひく すがたあらわ ふか
背の低いアサマブドウの木が姿を表します。深いこん色を

み あま あじ み
した実はまるでブルーベリー、甘い味がします。この実を

どうぶつ せっち
食べている動物がいるはずと、センサーカメラを設置し

ました。さて、食べていたのは？？？



こうし
講師

長野大学 環境ツーリズム学部 環境ツーリズム学科 教授

高橋 一秋（たかはし かずあき）先生

もの
森の中には、たくさんの生き物がすんでいて、ただ

つ ものどうし
見てもなかなか気が付かない生き物同士のつな

たんねん しら やせいどうぶつ しょうぶつ か
がりを丹念に調べています。野生動物や植物の代わ

きも つた
りに、かれらの気持ちを、人々に伝えていくという

きも ちょうさけんきゅうと く
気持ちで、日々調査研究に取り組まれています。



ふんしゅつぶつかんさつ
火山噴出物観察コーナー

あさまやま がんせき
浅間山はどんな岩石でできているの？

大きな石を手でもってみたい、キラキラの
じつさい かんさつ
鉱物を顕微鏡で拡大して実際に観察

してみましよう。サプライズの

しりょうとうじょう
試料も登場！



20th
ANNIVERSARY

浅間山 100 万年の恵みを未来へつなぐ



浅間山麓国際自然学校